

---

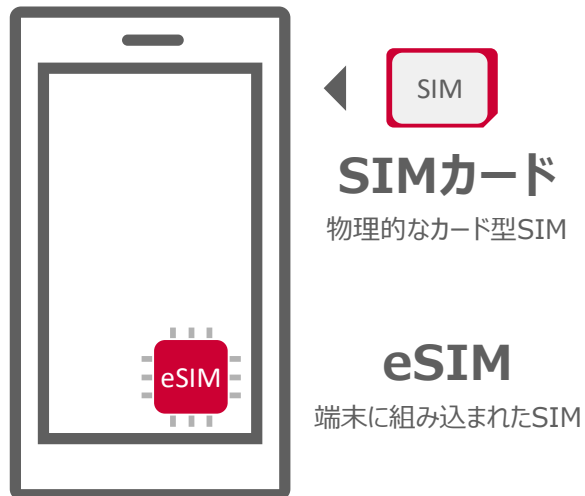
# 複数SIMの利用について

---

<sup>NTT</sup>**docomo**

2022年12月20日

## 1台の端末に2つのSIMを搭載できる機能



- 2つのSIM<sup>\*1</sup>で同時に待ち受け可能
- どちらのSIMでも発着信可能<sup>\*2</sup>

\*1 端末によってSIMカード×eSIM、SIMカード×2などの様々な組み合わせが存在

\*1 2つのSIMを手動で切り替えるデュアルSIM（シングルスタンバイ）機能も存在

\*1 ドコモでは、デュアルSIM機能の動作確認は未実施

\*2 データ通信についても、事前に選択したどちらか一方のSIMにて利用可能

## 2つのSIMを切り替えて使うシングルスタンバイ機能も存在

### DSSS

デュアルSIMシングルスタンバイ

- 2つのSIMのうち、どちらか一方のみ利用可能
- SIMは手動で切替が必要であり、無効化されているSIMは圏外となる

### DSDS

デュアルSIMデュアルスタンバイ

- 2つのSIMで同時に待受可能であり、どちらのSIMでも発着信可能

DSDV (デュアルSIMデュアルVoLTE) 2つのSIMで同時に4Gを利用可能

DSDA (デュアルSIMデュアルアクティブ) 通話しながら、もう一方のSIMでデータ通信可能

\*5ページに記載のドコモで取り扱うデュアルSIM (デュアルスタンバイ) 端末はDSSS・DSDS (DSDV) に対応

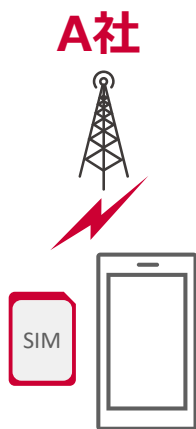
# 非常時におけるデュアルSIM機能の活用

**SIMの差し替えなしで  
複数の携帯電話事業者を同時に利用いただくことが可能**

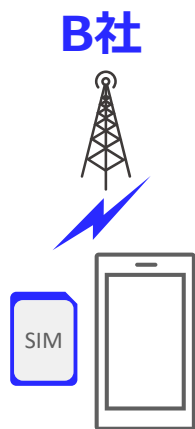
従来のシングルSIM端末の場合 **2台持ち**

1端末 × 1SIM + 1端末 × 1SIM

もしくは1端末でSIMを差し替えて利用



A番号:090-aaaa-aaaa

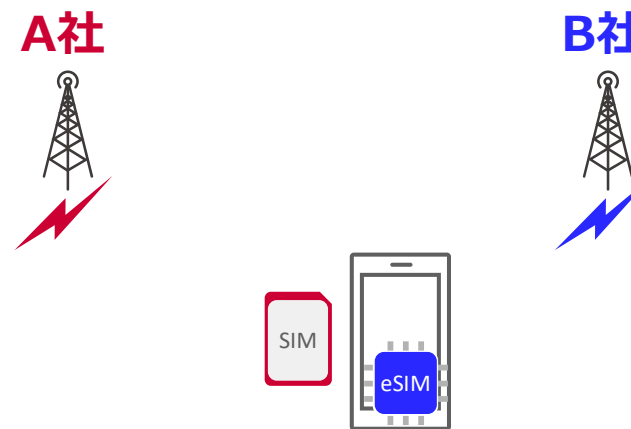


B番号:090-bbbb-bbbb



デュアルSIM端末の場合 **1台持ち**

1端末 × 2SIM



A番号 : 090-aaaa-aaaa  
B番号 : 090-bbbb-bbbb

# eSIMとは

端末に組込まれ、遠隔で電話番号などを書き込めるSIM  
店頭や郵送での発行手続きや、端末への抜き差しが不要

お申し込み手続きが  
オンラインで完結

最短1時間で  
利用可能

紛失・破損の  
心配なし

－ eSIM申込みから利用開始までの流れ －



\*オンラインからのお申込み（手数料無料）に加え、ドコモショップでも手続き可能（手数料2,200円（税込）が必要）

# デュアルSIM（デュアルスタンバイ）対応機種

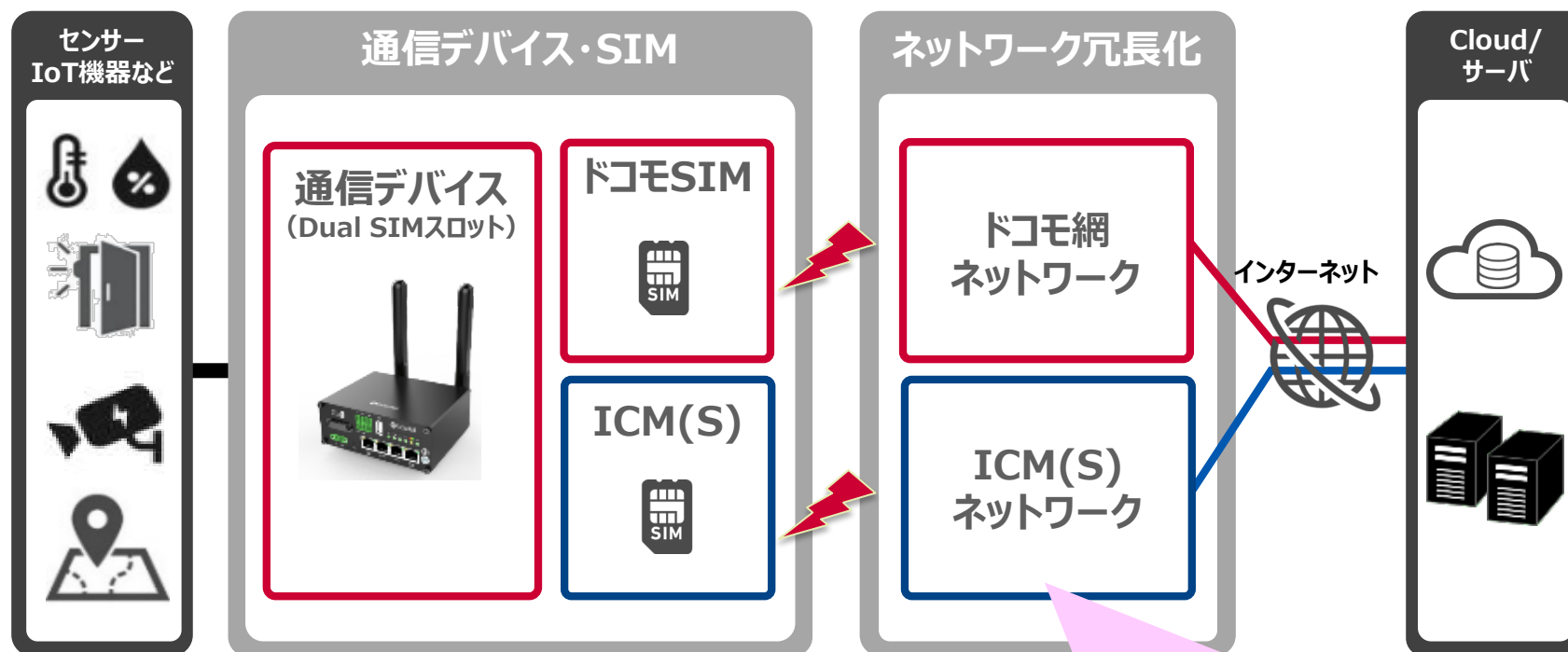
## デュアルSIM機能の活用が可能なeSIM対応機種を28機種発売

カテゴリ	機種数	機種名
ドコモ スマートフォン	8 機種	Xperia 1 IV SO-51C、Xperia 5 IV SO-54C、AQUOS R7 SH-52C、AQUOS sense7 SH-53C、Galaxy Z Flip4 SC-54C、Galaxy Z Fold4 SC-55C、Galaxy A23 5G SC-56C、arrows N F-51C*
iPhone	20 機種	iPhone XS、iPhone XS Max、iPhone XR、iPhone 11、iPhone 11 Pro、iPhone 11 Pro Max、iPhone SE（第2世代、第3世代）、iPhone 12、iPhone 12 Pro、iPhone 12 Pro Max、iPhone 12 mini、iPhone 13、iPhone 13 Pro、iPhone 13 Pro Max、iPhone 13 mini、iPhone 14、iPhone 14 Pro、iPhone 14 Pro Max、iPhone 14 Plus

\*2023年2月以降発売予定

# IoTモバイル回線冗長化ソリューション

**IoT機器向けに複数の通信キャリア冗長化をワンストップで提供するソリューションをNTT Comより提供開始（12月）**



NTT Comが提供するIoT向けモバイルデータ通信サービス「IoT Connect Mobile Type S」(ICM(S))を組み合わせることにより、複数キャリア冗長化を実現

あなたと世界を変えていく。

<sup>NTT</sup>  
docomo